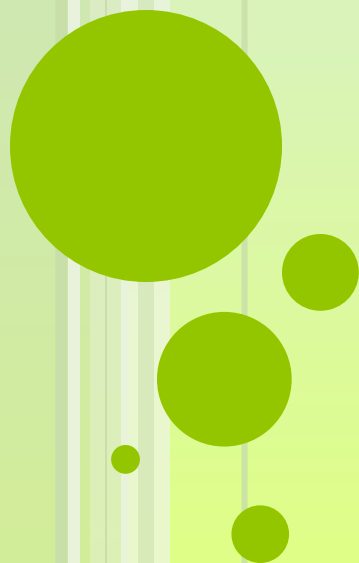


グリーン・カレッジ2023 沖縄・やんばる
参加レポート



・ひとりぼっちの3泊4日

出発前は親と離れるのが不安で、とてもドキドキしていて、緊張もしていました。また友達が出来るかや、カメラの撮影があると聞いていたので、しっかり話すことが出来るか心配でした。

・初めての飛行機

ぼくはこれまで飛行機に乗ったことがありませんでした。初めて乗る機体の柄はジンベエザメでした。見たことのない柄でかわいかったです。



・飛行機の様子

飛行機はジェットコースターのように、離陸するときと着陸するときがとても怖かったです。

離陸するといつも大きく見える建物や島が小さく見えました。

車に乗っている時と比べて、飛行機はあまり揺れなくてよわいから良いなと思いました。



機内では
客室乗務員さんが
飲み物を配っていたよ

ジンベエザメ柄の紙コップ



・テントで寝泊まり

ぼくたちはキャンプ場に行き、コールマンの方からテントの建て方を教えていただきました。

キャンプ場は、緑広がるキレイなキャンプ場でした。

テントをたてるときは友達と協力したり、大人の方に手伝ってもらったりしました。

テントの中では寝袋で寝ました。

夜に聞こえてくる鳥の声や虫の声がキレイでした。

友達と一緒にしゃべりながらあっという間寝てしまいました。



カレー作りにも挑戦。
男女別れて作ったカレー、どちらもおいしかったです

・ヤンバルクイナ発見

ぼくたちはヤンバルクイナのことを学びに「クイナの森」に行きました。

「クイナの森」は9年前に作られ、ヤンバルクイナが1羽だけ飼育されている施設です。

ヤンバルクイナは、絶滅危惧種で天然記念物でもある鳥の1種です。

飛べない鳥ですが走るのはとても速くておどろきました。

主に昆虫やカタツムリなどを食べているそうです。

最近では鳥インフルエンザや車にひかれるなどして、絶滅の危険があります。



・ヤンバルクイナのために作った看板

今回の体験の中で一番心に残ったのはロードキル防止のワークショップです。ここではヤンバルクイナが事故にあわないようにするために、運転手さんにむけて看板を作りました。

短い文で字をかき、それを施設の方に渡して、森に建ててもらったことになりました。

一羽でも多くのヤンバルクイナが幸せに暮らしていけると嬉しいです。



・カヌーに挑戦後、マングローブへ

カヌーはペダルというぼうでこぐスポーツです。

後ろの人とタイミングあわせて左右にこぐと前に進み、曲がりたいときは反対側だけをこぐと曲がります。

また、前にペダルを出すと、ブレーキがかかりとまります。

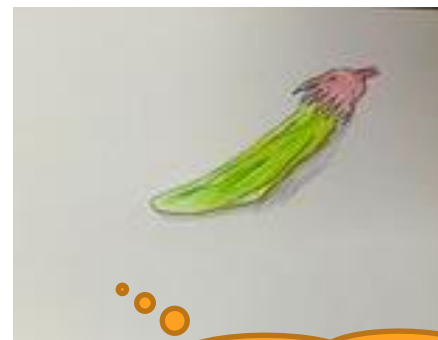
カヌーをした後はマングローブという植物があるところに行きました。

マングローブは根が大きく広がり、辺りにはカニなどの生き物がいました。

マングローブの木には細長い種がついていて、1つの種の中にたくさん中身が入っていると思ったけど、1個しか入ってなくてふしぎでした。



カヌーのこぎ方はスキーに似ていたよ



マングローブの種はこんなかたち

・全体のまとめ

この旅行では飛行機やテント建てなど初めてのことがたくさんありました。一番心配していた初めて知り合う友達との3泊4日はとても緊張したけれど、自分から自己紹介をして仲良くなることができ、楽しくすごすことができました。お別れしたけれどいつかまた会いたいです。最後に、ぼくたちが困らないように助けてくださった大人のスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

保護者より御礼

小学校等での泊りがけの経験がなく、家族と離れて過ごす初めての3泊4日。

長期日程の荷造りを共にしながら、「自分でちゃんと管理できるのだろうか、忘れ物をしないだろうか…」と、こちらも内心ドキドキしながらそんな気持ちを大きなバッグの中に一緒に詰め込んだことを思い出します。

旅に出る数日前から時折不安な気持ちを口にしていたので、出発する前日にデジタルカメラに家族の写真を保存しました。

「悲しくなったり寂しくなったらこの写真を見てね」と、半分冗談で話をしましたが、その写真を見ることのないまま全日程を終えることができたようです。

背中を丸めて出発していった息子でしたが、最終日の手荷物受取所で背筋をピンと伸ばし立つ姿を見て、なんだかたくましくなったように感じました。

数々の貴重な体験の裏では、多くのスタッフの方が子供たちに目を向けていただいたと思います。

成長を見守ってくださり本当にありがとうございました。

